KAKUDAI

洗濯機用混合栓

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、洗濯機用混合栓をお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

施工の前に…。
- ●温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- ●元止式湯沸器には使用しないでください。
- ●給湯に蒸気を使用しないでください。

使用圧力条件について…。
- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ●給水・給湯圧力は圧力差があると、温度調整がしにくくなります。やけど防止のため、給水圧力は、給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- ＊電気温水器と組合わせる場合は、特にご注意ください。

安全上のご注意

施工される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意　取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意」を表します。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」を表します。
- ⃠ してはいけない「禁止」を表します。

施工上のご注意

禁止	●湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。 ●給湯温度は85℃以上で使用しないでください。85℃より高温で使用されますと、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。 ●製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
必ず実行	●給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。 ●施工前に使用する壁板厚を確認してください。 ●壁空間は40mm以上確保してください。 ●養生キャップは壁面施工後まで取外さないでください。 ●混合栓に接続する配管や継手の経路がボードや下地材などに接触しないことを確認してください。接触する場合は偏芯ソケットを使用したり、下地材の逃げ加工を施してください。 ●配管内の、ごみや砂などは完全に洗い流してください。 ●配管接続は水栓本体を工具で押さえて、締込みを行ってください。 ●取付後の耐圧検査、漏水検査は水栓のハンドルを閉じ、自動閉止機構を解除してから行ってください。 ●寒冷地では取付後、凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

製品同梱明細

品番	洗濯機用混合栓（床配管・一般地用）	洗濯機用混合栓（床配管・寒冷地用）	洗濯機用混合栓（天井配管・一般地用）	洗濯機用混合栓（天井配管・寒冷地用）	カバープレート（メッキつき）	カバー固定プレート（メッキつき）	ハンドルセット（メッキつき）	カバープレート（メッキなし）	カバー固定プレート（メッキなし）	ハンドルセット（メッキなし）	ニップルツバ
127-102	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－	○
127-102K	－	○	－	－	○	○	○	－	－	－	○
127-103	－	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○
127-103K	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	○
127-102-W	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○
127-102K-W	－	○	－	－	－	－	－	○	○	○	○
127-103-W	－	－	○	－	－	－	－	○	○	○	○
127-103K-W	－	－	－	○	－	－	－	○	○	○	○

＊上記部材に加えて、
●タッピングビス(φ4×20)×4コ　●タッピングビス(φ4×25)×2コ　●取扱説明書
●施工説明書　●保証書　●下げ札　●壁ボード型紙　●ナット締付工具
を同梱しています。

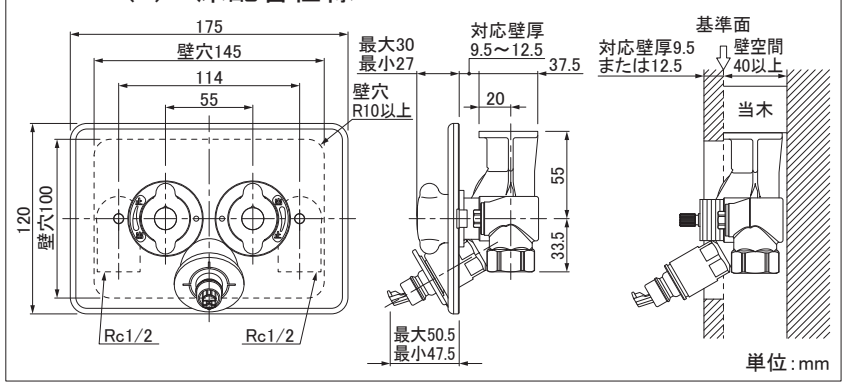
取付けの前に

＊数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

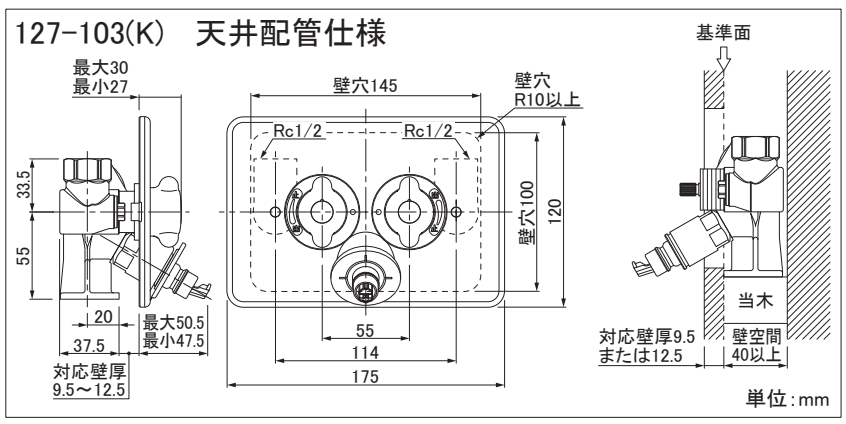
●取付条件(寸法)の確認

取付けの前に下記の取付条件(寸法)を確認し、正しく施工してください。

127-102(K)　床配管仕様



127-103(K)　天井配管仕様

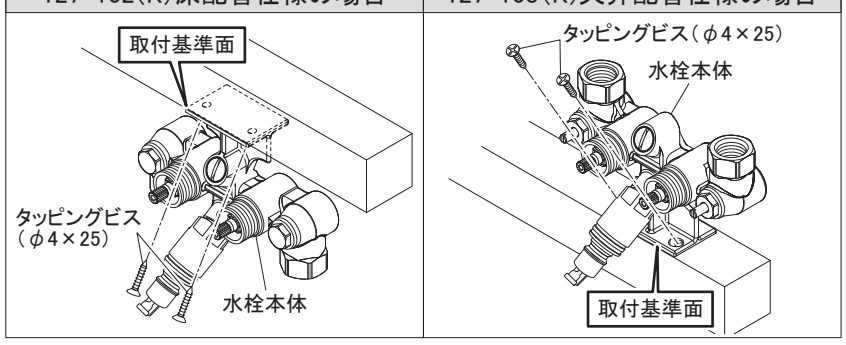


取付方法

1. 水栓本体を取付けます。

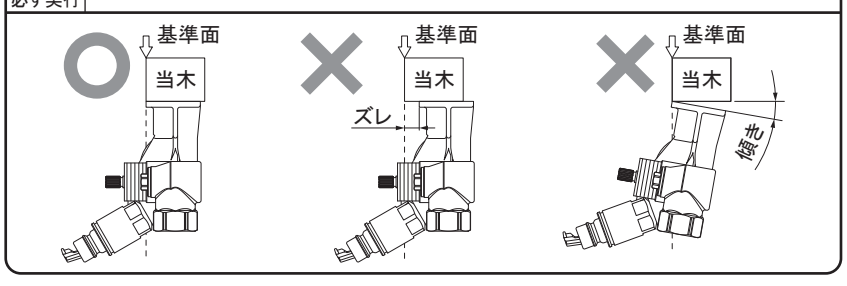
水栓の取付位置にあわせて当木を設け、水栓本体を付属のタッピングビス(φ4X25)で固定します。
*さや管工法の場合は仮固定してください。

127-102(K)床配管仕様の場合	127-103(K)天井配管仕様の場合



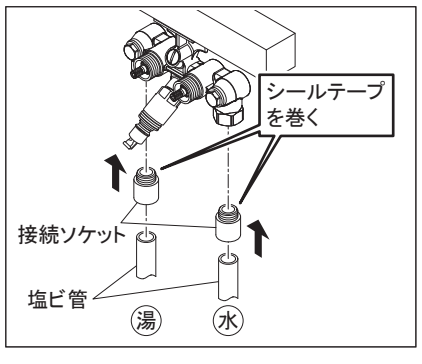
❗必ず実行　水栓本体はガタツキがないように強固に取付けてください。

❗必ず実行　水栓の取付基準面と当木の取付基準面が一致するように取付けてください。
ズレや傾きがある場合は再度取付け直してください。



2. 水栓本体に給水・給湯配管を接続します。

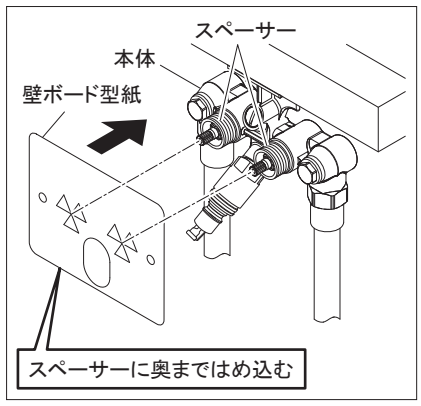
さや管工法の場合は「3. 壁を仕上げます。」に進んでください。



禁止	給水・給湯配管を逆に接続しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。
必ず実行	●配管を接続する際は必ずシールテープなどを使用して漏水しないように施工してください。 ●配管接続後、必ず耐圧検査を実施してください。耐圧検査は、水・湯のバルブを閉じて自動閉止機構を解除した状態で、各部の漏水を確認してください。

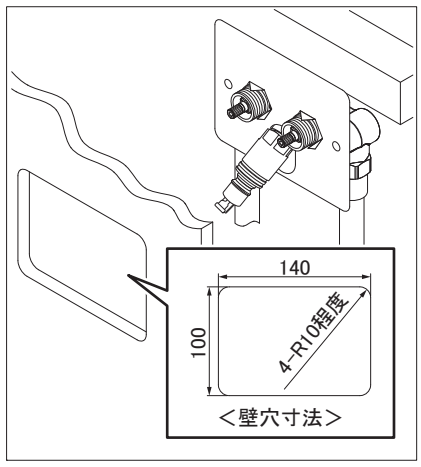
裏面へ続く➡

3. 壁を仕上げます。

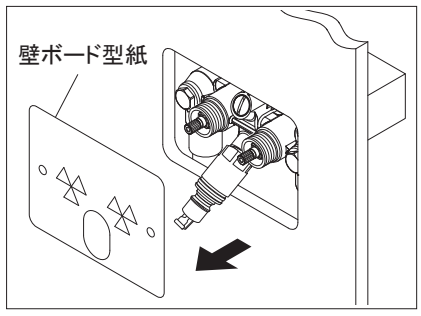


①壁ボード型紙を本体にはめ込んで固定します。

> ⚠ 注意　さや管工法の場合は壁ボードをはる前に給水・給湯配管の接続部から所定の距離をとってさや管を敷設しておいてください。



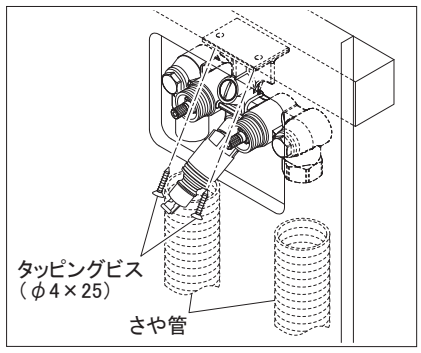
②壁ボード型紙に沿って壁ボードに穴をあけます。
＊壁ボード型紙を使用して穴の位置と寸法を合わせます。
＊壁ボード施工後に穴をあける場合は、壁ボード型紙の範囲内で水栓の突起（ハンドル軸、吐水口、水抜き弁）が通る最小の穴をあけて壁ボードを施工し、再度壁ボード型紙をあてて穴をあけます。



③壁ボード型紙を本体から外してから、壁ボードを施工して壁を仕上げます。

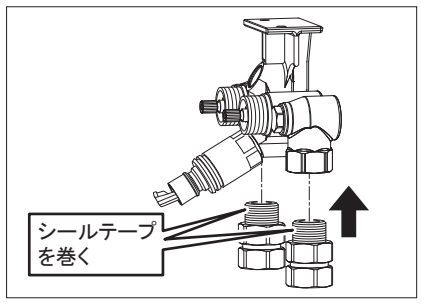
4. 樹脂管を接続します。

さや管工法以外の場合は「5.カバー固定プレートを取付けます。」に進んでください。



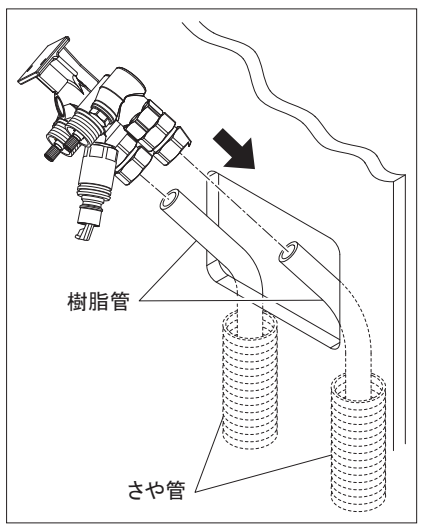
①仮止めした水栓本体を取外します。

> ⚠ 注意　水栓本体を取外す際にタッピングビスを壁裏に落とさないように注意してください。



②水栓本体の給水・給湯配管の接続部にそれぞれ継手を接続します。

> ❗ 必ず実行　配管を接続する際は必ずシールテープなどを使用して漏水しないように施工してください。



③樹脂管をヘッダー側からさや管を通して壁ボードの開口部に引き出し、継手と接続します。

> ❗ 必ず実行　配管接続後、必ず耐圧検査を実施してください。耐圧検査は、水・湯のバルブを閉じて自動閉止機構を解除した状態で、各部の漏水を確認してください。

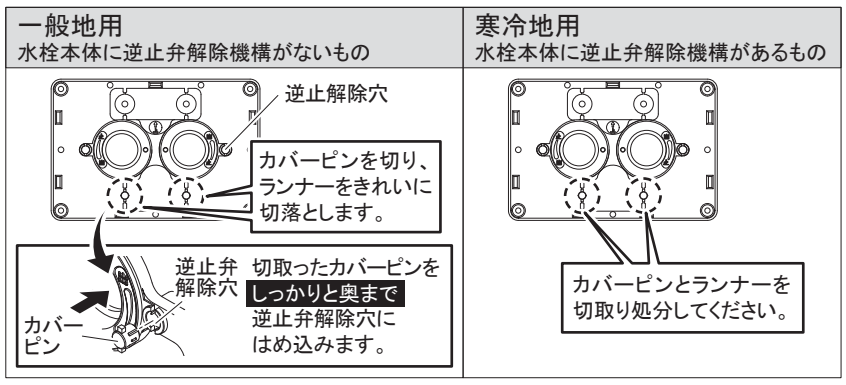
④水栓本体を壁内に収納し、タッピングビス（φ4×25）で当木に固定します。

> ❗ 必ず実行
> ●水栓本体はガタツキがないように強固に取付けてください。
> ●水栓の取付基準面と当木の取付基準面が一致するように取付けてください。ズレや傾きがある場合は再度取付け直してください。

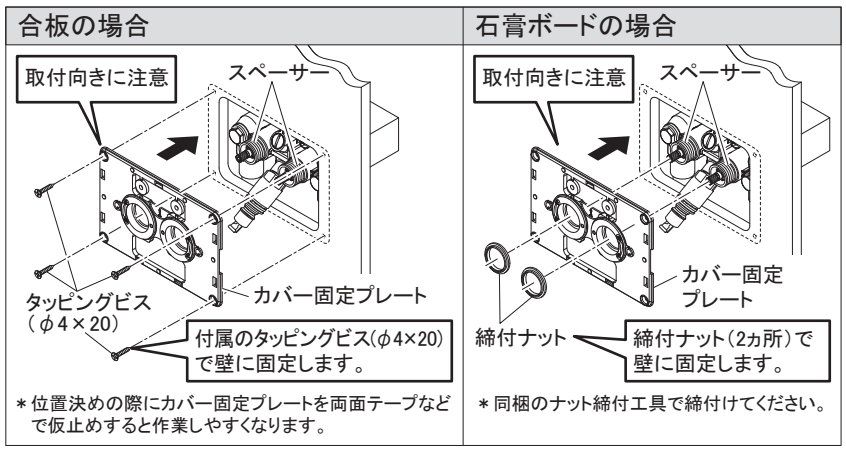
取付方法(つづき)

5. カバー固定プレートを取付けます。

①カバー固定プレートを仕様に合わせて設定します。

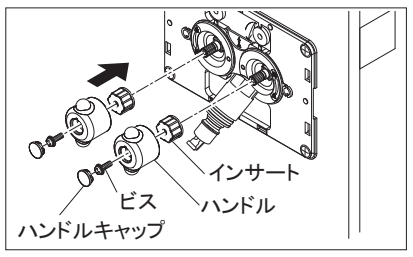


②①で設定したカバー固定プレートを水栓のスペーサーに通し、位置決めした後に下記を参考にして固定します。
＊取付ける壁の仕様により固定方法が異なります。



> ⚠ 注意　カバー固定プレートに浮き上がりやゆがみが出ないように固定してください。

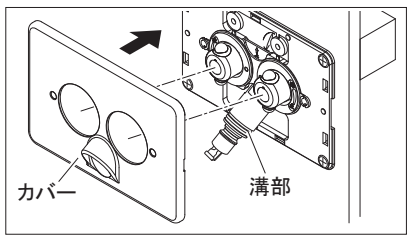
6. ハンドルを取付けます。



①水栓本体のノンライジング上部にインサートとハンドルをはめ込み、ハンドルビスを「プラスドライバー」で締付けて固定します。
②ハンドルにハンドルキャップをはめ込みます。

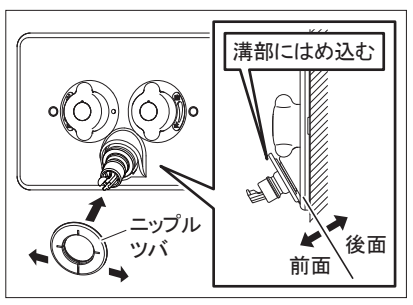
> ⚠ 注意　ハンドルがカバー固定プレートに当たる場合はカバー固定プレートを取付け直してください。

7. カバーとニップルツバを取付けます。



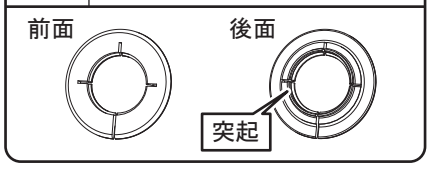
①カバーを吐水口(ニップル)に通してから、カバーをカバー固定プレートに「カチッ」と音がするまではめ込みます。

> ⚠ 注意　カバーをはめ込み後、吐水口(ニップル)の溝部がカバーから露出していることを確認してください。



②ニップルツバを広げて、前から吐水口(ニップル)の溝部にはめ込みます。

> ⚠ 注意　ニップルツバの取付方向に注意してください。



取付後の確認

①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
②洗濯機用給水ホースを取付けてから水栓のハンドルを開き、各部に漏水がないか確認します。漏水する場合はその箇所を施工し直してください。

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124
東京☎(03)3552-0981　名古屋☎(052)504-1551　大阪☎(06)6730-3391　福岡☎(092)611-4611
広島☎(082)278-2821　札幌☎(011)704-1511　仙台☎(022)239-8371

0118GF
M-A9831D

無断転載・複写を禁ず